

あのね

2024

7

あのね
2024年 7月号
通巻382号
発行 福音館書店 宣伝課

あるひとつの出会いが、その人の一生を決めることがある。先月刊行した絵本『イリエワニ』の作者(文)、福田雄介さんと野生ワニの出会いはまさにそうしたものでした。『イリエワニ』は、オーストラリア北部に暮らす世界最大のワニ、イリエワニの野生の姿を描く初めての絵本。本書に込めた思いをエッセイに綴っていただきました。



野生ワニを追いつけて 福田雄介



『イリエワニ』

福田雄介 文／関俊一 絵
定価2,200円(税込)
30×26cm／40ページ

読んであげるなら：5・6才から
自分で読むなら：小学中学年から

内容紹介



熱帯地方に位置するオーストラリア北部。川の水と海の水が混ざり合う「汽水域」と呼ばれる一帯に暮らすイリエワニは、大きなものは重さが1トンもあり、全長6メートルを超える。体は鎧のように硬くて分厚い鱗で覆われている。気性は荒い。肉食で何にでも食いつく。口には66本の歯が並び、何度でも生え変わる。世界最大のワニ、イリエワニ。巨大に成長した彼らに敵はいない。野生イリエワニの姿を描く初めての絵本。

高校に入ってから最初の夏休みが終わったころ、私はだんだん学校には行かなくなりました。毎日、親の目を盗んではズル休みをして暗い気持ちで過ごしていた。担任の先生からもうあと一日休めば退学だと最後のイエローカードをもらった晩、私は自室のテレビをみていた。その小さな画面に映ったのは、オーストラリアに棲むワニと現地の研究者の姿だった。その瞬間、私の頭のとっぴんからつま先まで稲妻が走り「これだ！」と思った。

その日から私は心を入れ替え、高校を卒業し、オーストラリアに渡った。あれから26年、オーストラリアでワニを追いつけた私の知見が、この絵本には最初のページから最後のページまでぎゅっと詰まっている。

イリエワニは世界で一番大きなワニ種だ。全長は6メートルを超え、体重も1トンに達する。そして性格は縄張り意識が強く、悍猛と言われる。動物園やワニ園でワニを見たことがある人はたくさんいると思うが、たいがいのワニはじっとしてほとんど動かず、地味な印象しかないかもしれない。

そんなイリエワニが自然ではどのように暮らしているのか……実際の姿はあまり知られていない。母親となるメスワニには産卵場所をめぐるメス同士の競争があり、そ

れらのメスとつがうためにオスは激しい争いをする。メスはつきつきりで巣と卵を守り、やっと生まれた子ワニは長さ30センチにも満たない小ささだ。そんな子ワニを狙って、鳥や魚などさまざまな天敵が襲いかかってくる。しかし、ひとたび成長してしまえば、ワニの方が大きくなり、かつての天敵は獲物となる。ワニの一生は意外に長く、人間と大差がないと考えられているが、その一生は過酷なサバイバル競争の連続だ。

最強の水辺の王者と言われるながらも、実はきびしい野生の世界を懸命に生きているワニの美しい姿を、本書では正確かつ迫力のある絵で描いてもらった。専門用語や難しい言葉は使わずに、小学校中学年から問題なく読んでもらえるようになっていく。地球の未来をになうお子さんが自然や動物に興味を持つきっかけになってくれればとてもうれしい(私のように外国にまで行って野生動物の研究や保護に半生を捧げてしまふのは考えものかもしれないが……)。

また、最新の研究結果をふんだんに取り入れた本書は、小学生以上のお子さんや大人が読んでも新しい発見があり十分に楽しんでもらえる内容だ。幸か不幸か、日本に野生のワニはいないが、世界のどこかにはこういう世界が広がっていることを親子で想像していただけたらと願っている。



ふくだゆうすけ●1980年、東京都生まれ。オーストラリアのダーウィン在住。野生動物学博士(オーストラリア国立大学)。日本で高校卒業後、ワニ研究の中心地であるオーストラリアに渡り、世界的権威の門を叩く。イリエワニとジョンストンワニの保護管理を専門とする研究員として、豪州ノーザンテリトリー政府に勤務。趣味も野生ワニの撮影で、週末は自ら船を操舵し巨大なワニを探す。帰国時の楽しみはお風呂とラーメン。野生動物としてのワニと人間社会の共存の実現がライフワーク。著書に「世界で一番美しいワニの図鑑」(エクスナレッジ)「もしも人食いワニに噛まれたら!」(青春出版社)がある。X(Twitter) : @GingaCrocodylus

楽しくて、ちょっとこわい

おばけの絵本

夏といえば、おばけ。暑くて寝苦しい夜、気分だけでもひんやりする怪談斬などを聞くのもいいものです。ここでは、楽しくて、ちょっとだけこわいおばけたちが登場する絵本を集めてみました。おばけたちはコンサートをひらいたり、保育園へ通ったり、暮らしぶりもさまざまです。ぜひ、お気に入りのおばけの絵本をみつけてくださいね。



6月 新刊 しよくどう「うらめしや」へ、いらっしやい

もののけしよくどう うらめしや
たにむらりあき 作
定価1,430円(税込) / 32ページ
ここは、もののけしよくどう「うらめしや」。じまんのメニューは「でんちにぎりずし」「ほこりのほっこりスープ」。やってくるお客は、リモコンさんに、しょうめいさんに、じゅうたんさん……みんな、いったいなにを注文するのでしょう。



7月 新刊

『ねないこ だれだ』が
ボードブックになりました



ボードブック
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
定価935円(税込) / 24ページ
読者の声にお応えてボードブックになりました。内容はそのままに、より安全なつくりで、おでかけにも便利な手のひらサイズ。



おしらせ

不思議な存在「オバケ」を見て、感じて、知って、そしてオバケになる。五感を使ったユニークな展覧会開催！

「オバケ？」展

2024年7月13日(土)～9月29日(日)

10:00-18:00(入場は17:30まで) *全国巡回予定

東京・立川 PLAY! MUSEUM

(東京都立川市緑町3-1 GREEN SPRINGS W3棟 2F)

会場内では、「ねないこだれだ」の思わず逃げ出したくなる怖さを立体や映像などを使った特別展示で紹介！



通常版



ねないこ だれだ

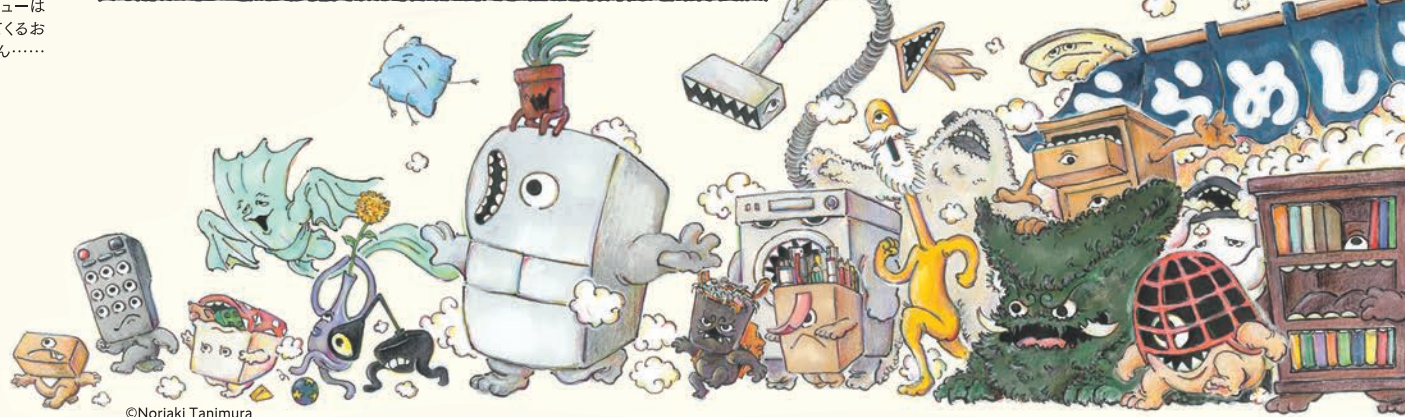
せなけいこ 作・絵

定価880円(税込) / 24ページ

こんな時間におきてるのだれだ？ ふくろうにどらね

こにどろぼう……。そう、もうおばけの時間なのに。

1才半から



うさこちゃんがこわーいおばけに大変身！



うさこちゃん おばけになる
ディック・ブルーナ 文・絵／まつおかきょうこ 訳
定価880円(税込) / 28ページ
「おばけに変身してみんなを驚かせてやろう」と思いついたうさこちゃん。さっそく、お母さんに古いシーツをかぶせてもらいます。

次々と愉快なおばけたちが姿を現します



おばけがぞろぞろ
ささきまき 作
定価990円(税込) / 24ページ
びろーんと木のうろから出てきたのは、ぞぞまるちゃん。ゴミ缶の中からは、おろむか君。愉快なおばけが次々と出てきます！

おばけたちが大集合。愉快な夜のコンサート！



おばけのコンサート
たむらしげる 作
定価990円(税込) / 24ページ
おばけたちが続々と家に来て、愉快なコンサートのはじまり！あまりの楽しさに家までぐらぐらと揺れて、一晩中盛り上がりました。

怖いかな？ 笑ってしまうおばけの絵本



おばけがぞろぞろ
小野寺悦子 文／植垣歩子 絵
定価990円(税込) / 24ページ
「おばけが」「おどろろろ」「おどろろろ」「おどろろろ」……愉快なおばけたちが出てくる数え歌の絵本。

森の中でひとりきり。おばけがあらわれた！



もりのおばけ
かたやまけん 作・絵／定価1,100円(税込) / 28ページ
森で弟とはぐれた「ぼく」は、不思議な森に、たったひとり。あつからも、こつからもおばけがでてきて、さあどうしよう。

おばけ家族の生活は、夜始まります



おばけがぞくのいちにち さくびーとらぼうのおはなし
西平あかね 作／定価1,100円(税込) / 32ページ
人間の子どもの眠るころ、おばけの子どもは保育園に出かけます。人間の暮らしとちょうど反対のおばけの楽しい暮らしが垣間見られます。

楽しくてちょっぴり怖い、おばけが通う「おばけえん」



おばけえんは すぐそこです
山崎るり子 詩／石黒亜矢子 絵
定価1,100円(税込) / 32ページ
ゲタ箱でつみきをする大入道、氷のお弁当を食べる雪女……。おばけたちの愉快な園生活を綴った、声に出して楽しい詩の絵本。

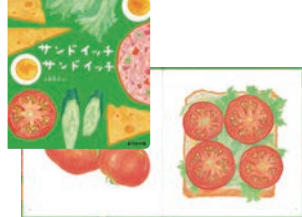
おばけも、友だちをほしがっているんです



おばけと友だちになる方法
レベッカ・グリーン 作／岸本佐知子 訳
定価1,650円(税込) / 40ページ
おばけも、友だちをほしがっているんです。おばけの世話のしかたを「取扱説明書」形式で遊び心たっぷりに描きます。

7月の新刊

美味しそうなサンドイッチの絵本と一緒に



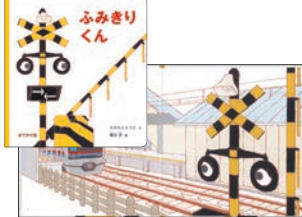
おでかけ版
サンドイッチ サンドイッチ
小西英子 作
定価770円(税込) / 24ページ
サンドイッチを作ろう！真っ白なふわふわのパンにバターを塗って、レタスをつけて……。

赤ちゃん絵本の定番が手のひらサイズになりました



おでかけ版
たまごのあかちゃん
かんざわとしこ 文／やぎうげんいちろう 絵
定価770円(税込) / 24ページ
卵の赤ちゃんとかくれんぼ！でてくるかな？ リズミカルな文とユーモラスな絵が楽しめます。

“ふみきりくん”がポケット版で登場！



おでかけ版
ふみきりくん
えのもとえつこ 文／鎌田歩 絵
定価770円(税込) / 24ページ
電車がくると赤い目玉をぴかぴかさせて「かんかんかん！」。ふみきりくんの1日を描きます。

見る 聞く かぐ 最新研究で探る恐竜の感覚



恐竜のあたたまの中をのぞいたら
脳科学でさぐる恐竜の感覚
大島英太郎 作／河部壮一郎 監修
定価1,760円(税込) / 40ページ
化石の頭骨を手がかりに、恐竜の「見る 聞く かぐ」感覚を探ります。最新研究ではCTスキャンで脳や内耳のかたちを調べます。

追悼 さとうわきこ展

3月に急逝された絵本作家、さとうわきこさんの追悼展が開催されます。出版から50年の「おつかい」や、ロングセラー「せんたくあちゃん」や「ばばあちゃん」シリーズなどの原画を展示するほか、アトリエの写真や仕事道具、陶器作品など絵本以外の創作活動についても紹介します。



2024年

7月13日(土)

～

9月8日(日)まで

八ヶ岳小さな絵本美術館

長野県諏訪郡原村原山

17217-3325

<https://www.ba-ba.net/>



福音館の月刊誌 8月号のご紹介

ピックアップ



光る石 北海道石
新鉱物Hokkaidoiteはっけん記
田中陵二 文・写真

たくさんのふしぎ



石が好きな子どもたちは、いつかは自分の手で、新しい石、新鉱物をみつけてみたいと願うものだと思います。北海道石発見者・命名者の田中陵二さんが、石との出会いから描く新鉱物の発見譚。

小学3年生から

定価810円(税込) / 48ページ



こどものとも 年少版 定価460円(税込) / 24ページ

なつのふしぎなじゅうたん
はらだそのこ 作
暑い夏の日、しろくまさんが持ってきた絨毯を広げると……。

こどものとも 年中 向き 定価460円(税込) / 32ページ

でんしゃにのって うみへいったよ
岡本雄司 作
電車に乗って海に行く、僕のお気に入りのコースを紹介するよ。

こどものとも 5～6才向き 定価460円(税込) / 32ページ

よなかのこうえん
環ROY 文／MISSISSIPPI 絵
夜中の公園 なにかがいます。星には見えない不思議な なにか。



ちりぞも かがくのとも 定価460円(税込) / 24ページ

ひぐらし
澤口たまみ 文／城芽ハヤト 絵
夕暮れと早朝に響くかなかな……。ヒグラシというセミの声です。



かがくのとも 5～6才向き 定価460円(税込) / 28ページ

ふうせんむし
三田村敏正 文／辻川奈美 絵
風船虫と呼ばれる虫を捕まえて、紙を洗めたコップに入れると!?



母の友 定価700円(税込) / 84ページ

特集「だれのためのルール？」
世の中に存在するたくさんの「ルール」。いったいだれが、だれのために作っているの？